

令和5年度



品川コミュニティ・スクール

成果事例集



分類 その他（地域連携）

地域の高齢者の方々とのおふれあい

福栄会の体験授業

事業の背景・目的

核家族が増えている昨今、高齢者の方々とおふれあうことがない児童が多い。
近隣の福祉施設にご協力いただき、機会を与えていただいた。

事業の概要

普段、高齢者との関わりが少ない児童が、施設を見学し、会話と一緒に体験することで助け合いの心や敬いの心を育ててほしいこと。

特徴および工夫した点

児童数が多いため、皆が等しく参加体験できるよう時間や日程の調整。高齢の方々と児童の体調等で日程の変更や調整など施設とまめに連絡を取り合った。

成果

最初はお互い遠慮気味に話していたが一緒に体験することで笑顔が増え会話も弾んでいた。

今後の展望

今まで意識していなかった高齢者の存在を意識し、電車で席を譲る等、自ら行動できるようになってほしい。



児童・生徒の感想

歌やゲームと一緒に出来て楽しかった。校歌を歌ったら喜んでもらった。

学校紹介 学校名 品川区立城南小学校
校長名 宮崎 朋子
住所 品川区南品川 2-8-21
電話 03-3471-7919
URL <https://jonan-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 50 名
学校地域コーディネーター 松澤 栄里子

創立 149 周年



分類 その他（地域連携）

「よりよい浅間台小学校にしていくなめには」 品川コミュニティ・スクール DAY 実施

事業の背景・目的

本校では、これまでコミュニティ・スクール DAY を実施しておらず、今年度初めての実施となった。次年度以降も継続して取り組めるよう、本校の課題とその解決方法について話し合いを行うこととした。

事業の概要

品川コミュニティ・スクールに関わっている校区教育協働委員・教職員・児童・保護者・地域住民が熟議を通して、品川コミュニティ・スクールの充実を実感、アピールするとともに、参加者が今後の地域と学校の在り方を検討する機会とする。

特徴および工夫した点

「よりよい学校にするために」について話し合いを行うために、各児童委員会から本校の課題を出させ。5・6 年児童が出た意見の中から課題を選び、その解決方法を考えた。当日は、各学年から発表し、校区教育協働委員から感想を聞いた。

成果

各学年の発表を聞き合うだけでなく、6 年生から5 年生への想いを伝える機会ともなった。



今後の展望

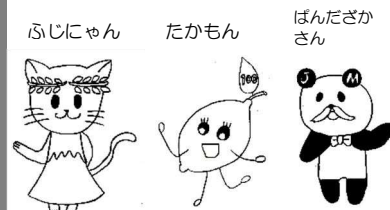
解決方法については、今年度から始めて、次年度以降も改善されるまで行っていく。

児童・生徒の感想

児童から出た課題は「あいさつを増やすために」「廊下の歩き方」「学校をきれいに保つ」の3点であった。

学校紹介

学校名 品川区立浅間台小学校
校長名 高橋 健一
住所 品川区南品川 6-8-8
電話 03-3474-2727
URL <https://school.cts.ne.jp/asamadai/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 34名
学校地域コーディネーター 小林 芳枝



浅間台小学校
開校 100 周年記念キャラクター

分類 学習支援（行事支援）

㊦ えがおのひみつ たんけんたい

2年生 町たんけん

事業の背景・目的

学校のまわりには商店街があり、子ども達も家族と買い物に行ったりして、知っているお店や行ったことがあるお店がある。その中でそれぞれのお店について改めて知ってみたいこと、不思議に思ったことなどをあげ、訪問し、質問をする。自分の住んでいる地域をよりよく知る。

事業の概要

2年生の生活科で、学校の周りの町にどんなお店があるのか調べ、訪問する。
受け入れてくれるお店は、コロナ前から受けてくれるお店が半分、新たに昨年度よりお引き受けいただいたお店が半分。担任とも確認しながらコーディネーターがお願いに上がっている。

特徴および工夫した点

昔ながらの八百屋さんや、お肉屋さん、校帽や体操着などを扱う洋品店や、文房具店など扱う商品のことも考え、子ども達が興味を持てるよう工夫した。各お店の定休日など重ならないように調べた。以前からお願いしていたお店が改装中だったりして、焦ったが、何とか他店にお願いできよかった。

成果

子ども達が、訪問するお店の歴史なども調べ、11月の学習発表会で堂々と発表することができた。保護者にも見てもらえた。

今後の展望

今後もご協力をいただいたお店の方と交流を持ち、新たにご協力をいただけるお店も増やしていければと思う。

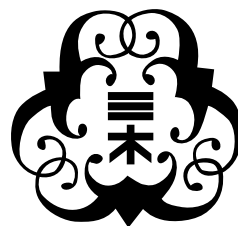


児童・生徒の感想

行ったことのあるお店に行けてよかった。今度お母さんと買い物に行ってみたいと思う。自分の知らないものが売っていた。たのしかった。など

学校紹介

学校名 品川区立三木小学校
校長名 白倉 直明
住所 品川区西品川3丁目16番28号
電話 03-3491-0404
URL <https://school.cts.ne.jp/mitsugi/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 90名
学校地域コーディネーター 長井 純子



分類 その他（地域連携）

御殿山さくらまつり 2024

～想いよ届け！百願提灯！～

事業の背景・目的

御殿山は江戸時代より桜の名所として多くの桜が咲き誇っています。しかし地球温暖化の影響でいつか桜は咲かなくなるかもしれないと言われています。そこで地域企業が主催する地域のお祭りと連携して 100 年後にも御殿山に桜を残したいという願いを込めて、100 個の提灯を子どもたちが絵付けをして製作、桜のライトアップに合わせて飾り、点灯する百願提灯を行いました。

事業の概要

100 個の提灯に子どもたちが願いを込めてイラストを絵付け。その提灯を地域のお祭りで飾り、桜のライトアップに合わせて点灯します。保護者同伴、近隣幼稚園や保育園からも園児が参加するなど地域で連携してお祭りに参加できた。

特徴および工夫した点

子どもたちが参加しやすいタイミングで開催するように、すまいるスクール御殿山とも連携して、放課後の時間を有意義に活用した。また近隣幼稚園、保育園からも参加して地域のお祭りとして定着するよう近隣企業とも連携しながら進めた。

成果

子どもたちが地域に愛着をもち、保護者も子どもの作品を通して、地域のことについて関心を深めることができた。

今後の展望

御殿山さくらまつりとして今後も継続していけるよう努める。

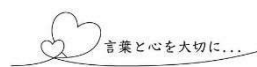


児童・生徒の感想

- ・ ちょうちんに絵を描くことがとても楽しかったです
- ・ さくらが咲くように願いをこめてつくりました

学校紹介

学校名 品川区立御殿山小学校
校長名 齋藤 早苗
住所 品川区北品川 5-2-6
電話 03-3441-0814
URL <https://gotenyama-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 95 名
学校地域コーディネーター 土屋 智宏



分類 その他（行事支援）

～自分たちがつくる運動会～ コミュニティ・スクール DAY

事業の背景・目的

校舎改築中のため、来年度の運動会は他校で実施するなど制約が多いことを理解しながら、5年生が競技や係などを考え、校区教育協働委員会と協議することとなった。

事業の概要

9月：5年生がクラスごと話し合う 11月：品川コミュニティ・スクール DAY①クラスの代表が校区教育協働委員に意見を発表 12月協働委員が児童からの意見を検討 1月：品川コミュニティ・スクール DAY②協働委員の協議結果を児童に発表

特徴および工夫した点

- ・校区教育協働委員会の会場に代表児童が参加し、他5年児童全員はZOOMで参加。
- ・複数回に分けて開催。短時間の話し合いで、集中して取り組むことができた。
- ・特に必要な「運動会の確認事項」だけに絞って伝えることで、児童が自由に発想・発言できるようにした。

成果

- ・制約が多い中でも楽しくできる方法や、練習が少なくても取り組める競技など、前向きにとらえながら意見が出し合えた。
- ・5年児童は他学年のことを考えたり、運動会の全体像捉えた考えができていた。
- ・校区教育協働委員会は、初めて、児童の意見を聞く機会となり、児童の成長を間近に感じられた。

今後の展望

来年度6年生になった児童と引き続き協議していく。また、実際に行われた運動会について振り返りを行い、新5年生を交えて、その次の運動会につなげていく。

児童・生徒の感想

- ・大人の前で話すのは緊張した。
- ・私たちが考えた運動会が現実になるのが楽しみ。



学校紹介

学校名 品川区立城南第二小学校
校長名 三浦 一輝
住所 品川区東品川3-4-5
電話 03-3471-7481
URL <https://school.cts.ne.jp/jyonan2/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 78名
学校地域コーディネーター 五月女 祥子



分類 学習支援

～多くの地域の皆さんの協力で実現～

海苔博士になろう

事業の背景・目的

例年、学校周辺の歴史について学ぶ「まち歩き」を行っているが、その歴史の中でも「品川海苔」についてクローズアップした学習を4年生が行うこととなった。

事業の概要

10月～2月の長期にわたって、海苔の博物館見学から始まり、保護者ボランティアによる「まち歩きと歴史の語り部」、海苔店店主による「品川海苔の文化と歴史」の講話、調べたことを地域に伝える「チラシ配り」「学習発表」と、多くの地域の方々の協力によりバラエティに富んだ学習が実現した。

特徴および工夫した点

- ・多くのボランティアを募集し、皆さんの得意を生かした配置を心掛けた。
- ・児童が、地域の皆さんと接し、様々な話を聞くことで多くの情報を得ることができた。
- ・ボランティアは複数回にわたって参加し、学習の流れを理解して協力できた。

成果

- ・一つのテーマを長期に学習したが、児童が最後までやり遂げることができた。
- ・「品川海苔」について多くの情報を得ることができた。
- ・保護者ボランティアや近隣商店の皆さん、地域にお住まいの皆さんと交流ができた。

今後の展望

地域の歴史について、様々な情報を提供して下さる方や児童に協力をして下さる方が多くいると分かった。他学年での地域学習にもご協力いただけるよう声掛けをしてきたい。

児童・生徒の感想

- ・自分たちの住んでいるところが昔は海だったと知って、びっくりした。
- ・自分たちが調べたことを、みんなに知ってもらえてうれしい。

学校紹介

学校名 品川区立城南第二小学校
校長名 三浦 一輝
住所 品川区東品川 3-4-5
電話 03-3471-7481
URL <https://school.cts.ne.jp/jyonan2/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 78名
学校地域コーディネーター 五月女 祥子



分類 学習支援

田んぼの中に入ってみよう！

5年生 代掻き・田植え体験

事業の背景・目的

これまで本校では、5年生の社会科の学習で、米作りを「バケツ稲」で実施していた。今年度は、令和4年度に完成した第2グラウンド横の【水田】を活用した米作りに挑戦した。その準備段階として、用務主事、保護者ボランティアのお力をお借りして【水田】を整備し、子どもたちが稲作体験できるようにした。

事業の概要

5年生の社会科の学習で【水田】での米作りに初挑戦。水田に水を張り、丁寧に土をかき混ぜ、土の表面を平らにする作業（代掻き）を行った。教育委員会指導課学校地域連携の宮原先生より稲の苗をいただき、直接ご指導のもと、数本の稲の束を植えていった。

特徴および工夫した点

児童が代掻きをする際に怪我をしないよう、事前に保護者ボランティアが枯れ枝や雑草を取り除いた。夏季休業中の稲の生長を保護者ボランティアが見守り、写真・動画等を撮影し、記録に残した。

成果

初めての試みで、子どもたちは慣れない足場・土の感触に戸惑っていたが、次第に慣れ、土の気持ちよさを感じる児童が多くあらわれた。

今後の展望

次年度は、稲刈り、脱穀、粳摺り（もみすり）まで行い、試食まで学習を展開したい。



児童・生徒の感想

代掻きや田植えは楽しかったけれど、実際大変だった。お米を「ありがたい」、「当たり前ではない」という気持ちをもって食べたい。時間や手間がかかる農業をしている農家さんへのありがたみを感じた。

学校紹介

学校名 品川区立第一日野小学校
校長名 大関 浩仁
住所 品川区西五反田 6-5-32
電話 03-3492-6258
URL <https://school.cts.ne.jp/hino1/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 29年度
登録ボランティア数 61名
学校地域コーディネーター 出口 智子



分類 その他（地域連携）

～～～ 地域みんなで楽しく踊ろう！！ ～～～

3年生 市民科 私たちの盆踊り ～夏詣盆をどり～

事業の背景・目的

コロナ禍で失われた賑わいを取り戻すため、「地域を盆踊りで元気に！」と2022年に学校近隣の神社の宮司が声掛けをし、地域の方で地域の特色を入れた盆踊りの歌詞を制作・レコーディングされました。その歌詞には芳水小学校のことも入っており、地域の方々の「芳水愛」を感じるもので、当校の児童たちにもぜひ覚えて踊って欲しいと、3年生に踊りを教えていただくことになりました。

事業の概要

3年生4クラスが2クラスずつ2回に分けて、地域の方々から「夏詣盆をどり」のご指導をいただきました。初めに歌詞についての説明があり、お手本に踊っていただいた後、児童たちの間に入って一緒に踊っていただき、児童たちは見て踊りながら覚えました。

特徴および工夫した点

芳水小学校学区の町会・自治会の方々が毎回15～16名来校くださり、児童たちに丁寧に踊りを教えてくださいました。踊りには手ぬぐいを使い、歌詞の一部は児童たちが大きな声で歌いながら踊り、覚えました。

成果

神社の夏の納涼祭でこの曲がかかると、盆踊りの輪に自ら入って、楽しそうに踊っている児童たちの姿が見受けられました。盆踊りが地域の方との交流の1つになりました。

今後の展望

1学期に3年生がこの盆踊りを覚え、地域神社の納涼祭の盆踊りの時に児童みんなで踊れるようになって、地域の方々との交流を深める場の1つとしていきたいです。

児童・生徒の感想

「芳水小学校の名前や校歌が入っていて驚いた」、「踊りがおもしろい」、「楽しかった!」、「簡単ですぐ覚えた」等の感想がありました。多くの地域の方とふれあい、顔を覚えることができる、よい機会になったと思いました。



学校紹介

学校名 品川区立芳水小学校
校長名 高木 圭一
住所 品川区大崎 3-12-22
電話 03-3491-1555
URL <https://school.cts.ne.jp/hosui/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 174名
学校地域コーディネーター 清水 真由美



クスク

くすじい

分 類 学習支援（行事支援 他）

多様性・防災 探究学習のために

日本赤十字社 加盟校ならではの学び

事業の背景・目的

探究学習を進めていくにつれて、机上の学習だけではなく、生の声を聞きたい、体験をしてみたいという声が児童からも教員からもあがっていた。

事業の概要

探究学習発表会に向けて子どもたちが掲げた課題や問いへのヒントになる実体験やアドバイスを、赤十字の皆さんから担任へのレクチャーという形で行った。

特徴および工夫した点

高齢者疑似体験、妊婦疑似体験、視覚障がい者疑似体験、車椅子体験、避難所運営ゲーム（HUG）など各学年で必要な体験や学習を行えるようコーディネートを行った。

成 果

各疑似体験やレクチャーを通して、探究学習への意欲や学びが深まった。

今後の展望

新年度が始まったら直ぐに教員に青少年赤十字加盟校について周知し、探究学習だけではなく様々な学習に活かしてもらいたい。



児童・生徒の感想

- ・疑似体験で体験したことや感想を含めて、探究学習までに整理や分析を行い、発表して多くの人に伝えたいと思う。
- ・想像とまったく違ったので体験できて良かった。驚いた。

学校紹介

学校名 品川区立第三日野学校
校長名 松本 寛
住所 品川区東五反田 1-19-19
電話 03-3441-6452
URL <http://school.cts.ne.jp/hino3/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 153 名
学校地域コーディネーター 河内 裕子



分類 授業支援・その他（地域連携）

10年、20年、30年とつづく三日野文化

茶道教室 ～和敬清寂・一期一会～

事業の背景・目的

三日野児童と茶道との出会いは平成16年度のアメリカンスクールとの交流にあたり、当時保護者であった茶道講師今井先生が授業補助を引き受けてくださったことがはじまり。平成17年度から茶道クラブ、平成18年度から市民科茶道教室と、よりよい市民科学習を目指して継続して今井先生が授業を行ってくださっている。

事業の概要

- ・市民科文化創造領域 市民科「礼ぎの大切さ」 日本文化の礼儀作法を知る。
- ・3年生と4年生、2年連続で茶道授業を体験する。

特徴及び工夫した点

- ・児童の様子実態をよく知っていただいている講師による授業が三日野の伝統・文化となっている。

成果

- ・和室内で本物の設えを体感し、挨拶、言葉遣い、立ち振る舞い、姿勢を味わうことができる。
- ・思いやりの態度や感謝の気持ちを育む時間となり、礼儀の大切さに気が付くことができる。



今後の展望

コロナ禍を経て再開した活動を途絶えさせることなく、スムーズに開催できるよう準備をする。

児童・生徒の感想

- ・卒業生がボランティアさんで手伝いにきてくれ嬉しかった。私も卒業したら茶道ボランティアをしたい。
- ・いつもの和室の空気が違った。クラスのみんなや先生とお茶をきちんといただけて嬉しかった。
- ・茶道で学んだように、普段から接する相手に対して大切に思えるようになりたいと思った。

学校紹介

学校名 品川区立第三日野小学校
校長名 松本 寛
住所 品川区上大崎 1-19-19
電話 03-3441-6452
URL <http://school.cts.ne.jp/hino3/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 153名
学校地域コーディネーター 河内 裕子



分類 環境整備支援（地域連携）

地域・町会のお困りごとにこたえよう！

地域ふれあい活動

事業の背景・目的

校区教育協働委員から町会が世話する近隣公園の花壇作業を子どもたちに手伝ってもらえないかと相談があった。本校では全校児童で行っていた地域清掃がコロナ禍にできなくなっていたため、高学年で花壇整備にあわせ清掃活動も実施した。授業の目的は「地域の一員として地域をきれいにしようという気持ちを育てる」とした。

事業の概要

10月に6年が、2月に5年が5つの連携町会と商店街、かむろ坂にわかれて花壇整備と清掃活動を行った。各グループに担任他、学校支援ボランティアが付き添った。

特徴および工夫した点

町会長と花壇担当の町会員の方、また花壇を担当する業者と連絡を密に取り、児童が参加することで普段されている整備活動の邪魔にならないようにした。児童もボランティアも在住する町会の花壇、清掃場所を担当するようグループ編成を工夫した。

成果

町会の方から「また来てね」「一緒に作業できて楽しい」と好評だった。児童も花壇作業と清掃に一生懸命取り組む姿が見られた。



今後の展望

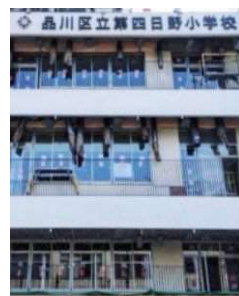
昨年度と今年度は花壇と清掃活動を実施したが、今後も町会のお悩みごとに学校として対応していきたい。

児童・生徒の感想

校舎改築により校庭がないため外での活動が楽しかった。また町会の方がとても喜んでくれたのが嬉しかったとの感想があった。

学校紹介

学校名 品川区立第四日野小学校
校長名 島崎 一江
住所 西五反田 4-29-9
電話 03-3491-1281
URL <https://hino4-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 110名
学校地域コーディネーター 清水 陽子



分類 学習支援（一貫プラン・校区教育協働委員会）

個性や長所が活かされる社会を目指して

事業の背景・目的

探究学習の八つあるテーマのうち「教育・スポーツ」グループの中で、個性や長所が活かされる社会を目指して選択制授業の実現を考えるチームの支援を行う

事業の概要

- ① キャリア教育とはなにか、教育に携わる人から話を聞く。
- ② 実際にプロジェクト学習を取り入れている学校にインタビューする。
- ③ 自分たちで考えた実践内容の実現する授業を受ける。

特徴および工夫した点

当初キャリア教育を携わる企業の紹介を頼まれたが、求めている物と違うと感じたので、管理職に相談し、管理職から直接、教育についてレクチャーしてもらった。そこで子ども達の目指している事がはっきりし、②の支援が出来た。また、CSDAY(10月)や探究学習発表会(2月)で校区教育協働委員に関わっていただいたことで、③の実践につなげる事ができた。

成果

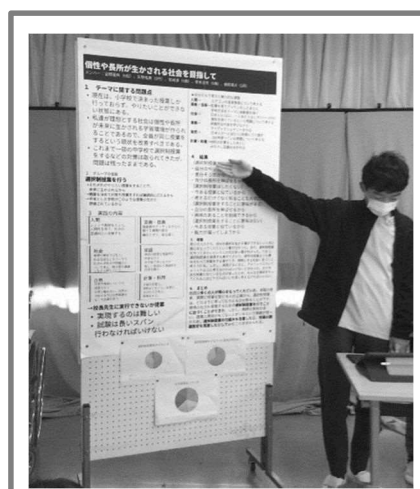
まずは、児童アンケートでやってみたい授業の三位だった「言語の授業」を校区教育協働委員長に協力いただき、放課後に行った。(3月実施)

今後の展望

授業の中に取り入れるのは難しいが、放課後の探究塾の様な形での実施は可能である。

児童・生徒の感想

選択授業に多くの人に関心を示し、理想の社会を実現することに近づくことができた。一方、教師の負担や興味をもてない人がいるなど課題が残ったため、仕組の改善や授業課題を見直す必要があると感じた。



学校紹介 学校名 品川区立大井第一小学校
校長名 吉川 信次
住所 品川区大井6-1-32
電話 03-3771-5240
URL <https://oi1-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 111名
学校地域コーディネーター 長沼 さおり



分類 その他（地域連携）

ワクワクする体験がいっぱい！

鯨浜フェスタ（体験型サマースクール）

事業の背景・目的

勉強だけでなく、普段ではなかなかできない貴重な体験を味わえる機会をすることで子どもたちの力を伸ばし、自身の新たな力の発見に繋がることを目的としています。

事業の概要

7月に申込用紙を配布し、集計作業や人数調整後、夏休みの初日から5日間で実施をしました。講師10名（地域、保護者、教員等）で合計15講座になりました。

特徴および工夫した点

初めて行うため、どのくらいの申し込みがあるか分からなかったため、10種類の講座に決定しました。動画作成、バルーンアート、工作や卓球、野球教室、なわとびなど運動系も準備しました。

成果

多くの申し込みがあり、講座によっては定員以上の申し込みがありました。必ず1つは体験できるように調整しました。



今後の展望

講座の種類増などの検討と、QRコードを使用した電子での申し込みと集計作業を取り入れたいです。

児童・生徒の感想

参加した児童やその保護者からはとても好評で、来年度もぜひ実施してほしいと要望がありました。

学校紹介

学校名 品川区立鯨浜小学校
校長名 坂詰 晃
住所 品川区東大井 2-10-14
電話 03-3765-2844
URL sameshou.gakkousien@gmail.com
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 68名
学校地域コーディネーター 河出 賢美



鯨浜小学校
シャークビーチ

分類 その他（地域連携）

SDGs11 住み続けられるまちづくりを たてわり学習 12班 まちをキレイに

事業の背景・目的

1年生から6年生と一緒に学ぶたてわり学習で、12班が「SDGs11 住み続けられるまちづくりを」をテーマに1年間学習。地域の方と学校周辺を掃除することによって、地域の方を知り、自分たちが住んでいるまちをきれいにすることを意識付ける。

事業の概要

毎月、町内清掃を行っている大井三丁目町会さんをお願いし、土曜授業日に合同清掃を実施。

特徴および工夫した点

まちを練り歩くだけにならないよう、全員が掃除に関われる役割分担をした。

成果

まちを掃除しただけではなく、自分たちが暮らすまちを普段どんな方々がキレイにしてくれていたかに気付くことができ、町会の方たちに山中小学校の子どもたちを知ってもらうこともできた。



今後の展望

地域の方に子どもたちの授業や活動を見ていただくだけでなく、一緒に活動できるような授業を企画していきたい。

児童・生徒の感想

ごみを見つけるのがゲームみたいで面白かった。
隠すように捨てられているゴミがあってびっくりした。

学校紹介 学校名 品川区立山中小学校
校長名 守田 由紀子
住所 品川区大井 3-7-19
電話 03-3772-3006
URL <https://yamanaka-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 45名
学校地域コーディネーター 三原 美奈子



分類 学習支援

季節の行事を通して英語に親しもう

2年生 英語秋フェスタ

事業の背景・目的

低学年から英語の授業を実施するために方法を模索していた時、英語スクールの講師に秋冬のイベントに関連した楽しい授業を展開していただけるよう依頼したのが始まり。

事業の概要

学年全体で集まりハロウィンのイベントをすべて英語で行う。講師が実際に目の前でジャックオーランタンを作るところを見たり、校内を練り歩いてチェックポイントで trick or treat と呼びかけ、シールをもらったりする。クイズや歌なども英語で行う。

特徴および工夫した点

イベントの性質から場にふさわしい雰囲気を作れるよう前もって学年の先生方と打ち合わせる。また、英語がわからなくてもクイズに全員が参加できるよう配慮いただいている。校内の英語専科の先生にも雰囲気を盛り上げる雰囲気づくりに協力していただいた。

成果

単にイベントとして楽しむだけでなく英語のクイズに答えることができた喜びや、自分から英語で話しかけることで自信がついていく様子が見られる。



今後の展望

保護者ボランティアだけでなく、英語科の大学生ボランティアの方々に入っただき子どもたちと一緒にクイズや扮装を楽しんでもらいたい。

児童・生徒の感想

ジャックオーランタンを本当に切って作ったのを初めて見てすごいと思った。校長先生からシールをもらった。

学校紹介

学校名 品川区立立会小学校
校長名 滝沢 正史
住所 品川区東大井4丁目15-9
電話 03-3474-3424
URL <https://tachiai-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 230名
学校地域コーディネーター 梅内 雪江



分類 学習支援

新たなチャレンジ

4年生『ウォールアート』体験学習

事業の背景・目的

近隣の企業から会社の壁に画家の方と共同で壁画をお願いしたいとの話があがった。
企業から依頼があったときは少人数での計画だった。しかし、学年単位で実現に向かいたい思いから、一例として逆提案を投げかけてみたところ擦り合わせができ、その後の打合せにつながった。

事業の概要

企業(ネットワンシステムズ(株))・画家(小田佑二さん)と浜川小学校の4年生の子どもたちの協働にて未来の夢を会社の壁に描く。

特徴および工夫した点

企業の提案内容に学校教育の認識のずれがあり、そこを企業へ再提案を検討してもらいうまく擦り合わせ実現可能となった。

成果

事前ワークも含め、児童がしっかり考える時間をもち、「出来ない」から「出来る」、「出来た」に進化し、自信につながった。

今後の展望

児童にとって良いと思う体験を学校ルールの中で可能にしていきたい。



児童・生徒の感想

難しいと思ったけど、できて嬉しかったし、楽しかった。
広くて気持ちよかった。普通は経験できないことができて、すごいと思った。

学校紹介

学校名 品川区立浜川小学校
校長名 高橋 壮昌
住所 品川区南大井 4-3-27
電話 03-3761-0530
URL <https://hamakawa-es.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 28年度
登録ボランティア数 48名
学校地域コーディネーター 内山 さとみ



分類 学習支援

七輪体験教室

事業の背景・目的

昔の道具を実体験させることによる気づきを考える。先生方、参加ボランティアからの復活の声が高く、昨年度は火付け体験を、今年度は火をつけて食べ物を焼いて食べる体験をした。

事業の概要

昔の道具を実体験するために「七輪」を用いて、マッチの擦り方、牛乳パックで作成した着火剤の入れ方を学んだ。実際に火をつけて食べ物を焼いて食べてみた。最後は炭を水に入れて取り出し、それだけでは火が消えないことも体験した。

特徴および工夫した点

以前は、安全管理ボランティアだったが、今年度は講師をお願いした。先生によって若干変わるニュアンスの違いを統一できた。学校公開時に七輪教室を開き、保護者の方にも安全管理の見守りをしていただいた。

成果

着火剤の入れ方により、火のつく速さが違うことを学び、工夫して着火剤を入れていた。また、炭は火が見えない事を知り、消えているように見えても危険なことを学んだ。

今後の展望

事前授業で見る動画なども、講師と共有して、より統一感のある授業にしたい。

児童の感想

「楽しかった。」「おいしかった。」の声が多い中で、「マッチが怖い。」「煙がいや。」「炭ってすごい。」の声も聞けてよかった。



学校紹介

学校名 品川区立伊藤小学校
校長名 齊藤 直彦
住所 品川区西大井 5-6-8
電話 03-3771-5331
URL <http://school.cts.ne.jp/ito-e>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 25名
学校地域コーディネーター 植本 理恵



分類 学習支援

地域のお店を知ろう！

2年生 生活科 「町たんけん」

事業の背景・目的

児童が地域にはどのようなお店や施設があるかを知り、実際に働いている人が、どのような仕事をしているかを理解する学習单元。学校地域コーディネーターが、訪問先に依頼・取りまとめを行い、教員の負担を減らすことが目的。

事業の概要

学校地域コーディネーターが、訪問先への訪問依頼・日程交渉。地域の様々なお店や施設に、児童を訪問させていただき、仕事内容や児童からの質問についてお答えいただいた。

特徴および工夫した点

児童が授業時間内で、訪問できるように、学校からできるだけ近いお店へ依頼。インフルエンザ流行に伴い、訪問時の児童はマスク必着とした。当日スムーズに訪問できるように、児童には事前に訪問先への質問内容、質問者を決めて実施するよう教員に依頼。

成果

教員と訪問先の間に入ることで、教員の負担を減らすことができた。地域の方々には、学校地域コーディネーターの理解が得られた。



今後の展望

訪問先のレパートリーを増やし児童がもっと地域とのつながりをもてるようにしていきたい。

児童・生徒の感想

普段は見られない所も見せてもらえて楽しかった。お店の人が朝から頑張っているのがすごかった。

学校紹介

学校名 品川区立鈴ヶ森小学校
校長名 守屋 直孝
住所 品川区南大井 4-16-2
電話 03-3763-6631
URL <https://school.cts.ne.jp/suzu-e>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 75名
学校地域コーディネーター 竹下 美加



分類 学習支援・その他（地域連携）

わがまちを知ろう！歩いて乗って品川宿探訪 探究型校外学習『品川宿まち歩き&目黒川ツアー』

事業の背景・目的

旧東海道、品川宿には歴史や文化、目黒川の水辺環境など地域資源が豊富である。それらを実際に歩きながら見て学び、子どもたちは主体的に地域の魅力を発見し、地域との関わりを考えるきっかけを得る。生まれ育った地域への愛着と誇りの心情を養う機会としたい。

事業の概要

学校×地域×地元企業が連携し、「住み続けられるまちづくりを」（SDGs 11）を目指す。事前学習、当日の体験学習、事後学習で探究を深め、東海道を中心とした地域資源を再発見する。体験で実感した「わがまちの良さ」をポスターにし、商店会街灯に掲示した。

特徴および工夫した点

地域の魅力を子ども自身が発見できるような体験型まち歩きにしたいという学校の願いを受け、しながわ観光協会の協力を得て、地元ボランティアガイドによる解説を聞きながら各主要ポイント巡り、目黒川クルーズによる水辺環境の観察を実施した。また、同協会が台場小学校オリジナル学習ノートを作成し、今後も継続できるまち歩き学習のスタートとなった。

成果

「普段見慣れた地域に多くの歴史や文化があることを知ることができた」という気づきの声が多かった。今後、地域に対する関心、学びの意欲向上につながってほしい。

今後の展望

5・6学年における、地域の歴史・文化・自然を学ぶ体験学習として定着させていく。また、子どもたちの発見を地域住民に発表する場を設ける。



児童・生徒の感想

身近な場所に多くの歴史や文化があることを初めて知ることができた。普段見られない目黒川からの景色を遊覧でき、有意義だった。

学校紹介 学校名 品川区立台場小学校
校長名 中嶋 英雄
住所 品川区東品川 1-8-30
電話 03-3471-3397
URL <https://school.cts.ne.jp/daiba/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 30 名
学校地域コーディネーター 和田 富士子



分類 その他（一貫プラン）

地域の歴史 品川を学ぼう

4年 品川用水

事業の背景・目的

3年生で品川区の様子を、4年生で玉川上水を学習した児童へ市民科一貫プラン「品川を学ぼう」について「品川用水」のことをお話しただける講師を探してほしいとの依頼があった。

事業の概要

講師に「品川用水の面影」の写真家 渡邊茂樹氏を迎えて、4年生学年全体でパワーポイント資料を見ながら「品川区の今昔」「品川用水の役割」「工事の様子」などの説明をうけた。

特徴および工夫した点

今回の講師依頼が来る以前の2022年1月に戸越銀座商店街で開催されていた写真展「品川用水の面影」へ足を運び講師とつながっていた。

成果

講師が京陽小付近の品川用水跡地などを撮影してくれたことにより児童が品川用水をより身近に感じることができた。



今後の展望

今後も継続して、品川にも用水を引き入れた歴史があり、元々の京陽小のすぐ脇を流れていたことを伝えていきたい。

児童の感想

江戸時代の品川は農作業をしているところが多かったから水が必要ってということも教えてくれて分かりやすかったし、写真がきれいでした。

学校紹介

学校名 品川区立京陽小学校
校長名 岩田 環
住所 品川区平塚 2-19-20
電話 03-3781-4775
URL <https://keiyo-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 20名
学校地域コーディネーター 岸 朱実



分類 その他（行事支援）

花いっぱい延山小学校

咲いた咲いた（となる予定）花いっぱい活動

事業の背景・目的

住宅密集地の中に建つ延山小学校。校庭も50m走を取ることもできない程、狭い場所に472人の児童が通っている。四季を通して自然を感じることができにくい

事業の概要

いくつかあるチューリップの球根プレゼントに応募案内を見て、これを取り入れてみることを計画する。

特徴および工夫した点

当選するかしないかは、一か八かなのでダメもとで気軽に応募した。
応募先が1つだけではなく、幾つかあったのもよかった。

成果

落選が続いたが最後にチューリップの球根が100個も届いたので、プランターを探し回って用意した。

今後の展望

今後も四季の花が年間を通じて感じられるよう、栽培委員会の子どもたちと一緒に取り組んでいきたい。

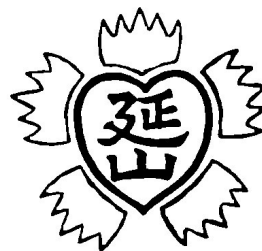


児童・生徒の感想

チューリップがきれいに花を咲かせるように、水やりを工夫して頑張っています。どんなチューリップになるのか楽しみです。

学校紹介

学校名 品川区立延山小学校
校長名 関 拓也
住所 品川区西中延 2-17-5
電話 03-3781-3806
URL <https://enzan-es.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 30年度
登録ボランティア数 23名
学校地域コーディネーター 阿部 多喜子



分類 学習支援・行事支援

一緒に踊ろう！品川音頭

体育学習発表会

事業の背景・目的

連合体育大会が実施されなくなったことから、児童が品川音頭を踊る機会がなくなった。また、指導できる教員も少なくなっている。品川区の自慢である品川音頭・甚句を踊れる機会を設けたい。

事業の概要

体育学習発表会のプログラムに「品川音頭」を入れた。本番では、児童、保護者、地域住民と教職員が一同に会し、品川音頭を踊ることができた。

特徴および工夫した点

体育学習発表会のリハーサルの前に、地域の方々にご来校いただき、高学年に品川音頭の踊り方を教えていただいた。校内では、高学年が下級生に教えることができた。

成果

品川音頭を踊ることができるようになった。また、地域の方々と直接交流をすることができた。

今後の展望

令和6年度は体育学習発表会から運動会に名称を変えるが、引き続き地域の皆さまと交流しながら一緒に踊れる機会を設けたい。



児童・生徒の感想

品川音頭を踊ることができるようになって嬉しい。地域のお祭りでも踊りたい。

学校紹介

学校名 品川区立中延小学校
校長名 中郡 裕帰
住所 品川区中延 1-11-15
電話 03-3781-4016
URL <http://school.cts.ne.jp/nakanobu/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 32名
学校地域コーディネーター 田中 良平



くすのっきー

分類 学習支援

伝統文化の継承 3・4年生 茶道教室の再開

事業の背景・目的

本校では3年間感染症拡大防止のために茶道教室が行われなかった。いざ再開にあたり、今までの積み重ねが絶えてしまっているなか、子どもたちにいかに茶道体験を楽しんでもらえるか考え、工夫した。体験から日本の伝統文化の良さを感じてもらうことも意識した。

事業の概要

3年生・4年生の市民科授業の位置づけ。裏千家淡交会の講師による学校茶道の出前授業である。4年2クラス、3年2クラスがお点前や和菓子を頂戴する体験をした。

特徴および工夫した点

- ・茶道のお道具類の点検・茶室の点検と整美・茶道ボランティア経験のある方を探す。
- ・他校の実践例を聞き取りする。・早めにボランティアの方を募る。
- ・コロナで空白の3年間のため本校で経験した教員がおらず、また学校地域コーディネーターも変わったため一から始めるつもりで臨んだ。

成果

児童はお辞儀（真・行・草）の仕方・和菓子のいただき方・お点前など集中し楽しみながら体験できた。



今後の展望

児童が伝統的な日本文化に触れ、茶道を通じて豊かな心を養うことは、さまざまな異文化に触れたとき相手を理解する土台になると考え、今後も茶道教室を開催していきたい。

児童・生徒の感想

- ・茶道を通して礼儀とあいさつの大切さを学びました。
- ・今日の機会はまさに一期一会だと思います。
- ・どんな時でも挨拶は大切だということを学びました。

学校紹介

学校名 品川区立小山小学校
校長名 上田 享志
住所 品川区小山5丁目10-6
電話 03-3781-0044
URL <https://school.cts.ne.jp/koyama/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 45名
学校地域コーディネーター 宮本 庸子



分類 校区教育協働委員会

「ポートフォリオ」から読み取る大原小の課題

～校教協での議題や取り組みなどの周知を図る～

事業の背景・目的

R4 から取り組んだポートフォリオの結果より、校教協での議題や課題への取り組みなどの周知の数値が低かったため、「校教協での取り組みの周知」を令和5年度の目標とし、大原小を取り巻く皆さんに向けて発信し周知を図ることが目的である。

事業の概要

ポートフォリオの結果を受け、令和5年度の4月中旬に「令和4年度大原小学校「校区教育協働委員会」への取り組み」という、1年間の校教協の協議内容やメンバーを一覧にし、全家庭・関係する地域の方に配布した。

特徴および工夫した点

ポートフォリオの活かし方も同時に課題だったが、まだ導入したばかりで理解も浅いため、とりあえず出来ることとして、この R4 校教協の協議内容のプリントを作成した。議事と感想を交えて簡素に作成し、4月中旬に配布。新年度を迎える準備ができた。

成果

令和5年度のポートフォリオの結果は「校教協の協議内容について情報発信がある」の項目では、数値で見ると、約15%増となった。

今後の展望

今年度のCSdayでの協議も加え継続していくと同時に、ポートフォリオを上手く活用しながら、今回の周知の先を考えたいと思う。

児童・生徒の感想

学校にいる先生や皆さん以外にも、私たちの学校や地域に関わってくれている方が多くいることが分かりました。これからは、学校行事や地域の行事と一緒に協力して取り組んでいけたらいいなと思いました。(児童の感想)

学校紹介

学校名 品川区立大原小学校
校長 隈部 洋子
住所 品川区戸越 6-17-3
電話 03-3781-4487
URL <http://school.cts.ne.jp/oohara/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
ボランティア数 (延べ数) 228名
学校地域コーディネーター 田中 裕美子



分類 行事支援

展覧会 『アートでつなごう！みんなのWA』

みんなで作り上げた宮前美術館 11/24(金)・25(土)開催

事業の背景・目的

・コロナが落ち着き、5年ぶりの体育館を使用しての大規模な展覧会の実施に伴い、作品の制作補助、会場準備、後片付け等をCSが担うことで教職員の負担軽減を図り、学校、家庭、地域と一体となり協働し、展覧会の成功を目指す。

事業の概要

・1年生の図工科授業支援（1学期から随時ボランティア参加）
・展覧会前々日、前日の作品展示準備、当日の受付・会場見守り、終了後の会場片付け等をボランティアで担当する。（作業日数5日間で延べ23名参加）

特徴および工夫した点

・1年生は専科の先生の空き時間を考慮して図工の時間を組み、そこにボランティアも参加し、子どもたちの作品制作の下支えとなった。
・本校自慢のボランティアの皆様が連日多数参加してくださり、縁の下の力持ちとして辛い所に手が届くような細やかな作業ができた。

成果

・学校の要望に応え、協働が叶い、みんなが達成感を味わえる素晴らしい展覧会となった。

今後の展望

今後も教員の負担を減らすべく、CSでできることは可能な限り対応していきたい。そのためには当然ながら日頃より関係各所との信頼関係を築いていくことが肝要。



図工科教諭より

教員だけでは手が足りない細かい作業や準備まで快く引き受けてくださったおかげで、子ども・保護者・地域の方々、そして教職員にとっても満足のいく形の展覧会になった。これからも協力しながら学校行事を盛り上げていきたい。

学校紹介

学校名 品川区立宮前小学校
校長名 今村 剛司
住所 品川区戸越 4-5-10
電話 03-3781-4386
URL <https://school.cts.ne.jp/miyamae/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 55名
学校地域コーディネーター 村田 綾香



分類 図書館 読み聞かせ

読み聞かせは 子どもの心の栄養

事業の背景・目的

3年間コロナ禍の中で、ボランティアによる読み聞かせができなかった。
今年度、読書週間でボランティアによる読み聞かせが徐々に実施できた。
読み聞かせは、子どもの集中力、想像力、文章理解力を養うことができる。

事業の概要

以前は読書期間中、1日設定の全12クラス同時に行っていたが、今年度は3日間に分けての実施であった。

特徴および工夫した点

読み聞かせを、低・中・高学年と2学年ずつ3日間に設定した。希望するボランティアには3回の読み聞かせができた。

成果

読み聞かせを3日間に分けたので、ボランティアの割り振りが好評であった。

今後の展望

年間3回の読書週間を今年度のように学年別3日間に分けると、読み聞かせが好きなボランティアに活躍の場がある。

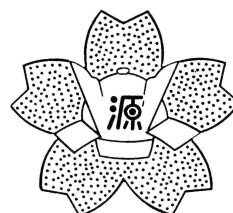


児童・生徒の感想

- ・本の選び方で、学年に合った本を読んでもくれた。
- ・ボランティアの読み聞かせに集中できた。

学校紹介

学校名 品川区立源氏前小学校
校長名 金児 京子
住所 品川区中延 6-2-18
電話 03-3781-4348
URL <https://school.ne.jp/genjimaie/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 71名
学校地域コーディネーター 中井 晃



分類 学習支援

働く人から学ぼう 『 キャリア学習 』

事業の背景・目的

5 学年は働くことの意義や価値について学習する機会が多いためキャリア学習のゴールとして位置づけ、この事業を立ち上げることとした。

事業の概要

さまざまな職業の方（エンジニア・医療関係者・会社員など計14名）に仕事の内容や仕事に対する思いや責任、働く意義など話をしてもらう。1グループ（6～7人程度）につき20分（質疑5分含む）で移動し、4人の講師に話を聞けるよう配慮した。

特徴および工夫した点

講師は学校に関係のある方（地域住民・卒業生・保護者など）ということを中心に、できるだけ少人数のグループで多くの講師から話を聞くことができるように考えた。場所も話が聞きやすいよう教室・専科教室・アリーナ等様々に用意した。

成果

児童が自分の未来像を描くことへの一助となった また仕事の大変さを知ることによって身近な人への感謝の気持ちや思いやりをもつことにも繋がっている。



今後の展望

保護者が積極的な年は講師の確保がしやすいが、地域からの講師が少ないため、継続して依頼できる人を増やして行きたい

児童・生徒の感想

いろいろ人から話を聞くことができ楽しかった。今を頑張ることが、将来につながるということが分かった。

学校紹介

学校名 品川区立第二延山小学校
校長名 名本 裕
住所 品川区旗の台 1-6-1
電話 03-3781-1348
<http://school.cts.ne.jp/enzan2/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 30 名
学校地域コーディネーター 石坂 美苗



分類 その他（地域連携）

品川コミュニティ・スクール DAY

「いじめ防止のために出来ること」

事業の背景・目的

毎年、後地小学校では弁護士の先生を講師に迎えて「いじめ」について様々な視点からの授業を行っている。初めての品川コミュニティ・スクール DAY を行うにあたり、いじめ防止のために自分たちが出来ることを子供と大人と一緒に考える。

事業の概要

校区教育協働委員、保護者、教員が子供たちの中に入り、いじめの定義、なぜ起こるのか、自分に何が出来るかについて、グループディスカッションを行い発表する。子供と大人が同じ視点で話し合う。

特徴および工夫した点

子供たちも校区教育協働委員も、事前学習として、松谷みよこ作「わたしのいもうと」を読むなど、いくつかのいじめの事例について事前学習を行い、スムーズに意見交換が出来るように準備を行った。

成果

校区教育協働委員といじめについて話し合うことで、地域の方と交流し考えを知ることが出来て、より地域の皆さんを身近に感じる事が出来た。

今後の展望

子供と地域の方が直接話し合う機会を今後も継続していきたい。



児童・生徒の感想

（児童・生徒の感想）地域の方の小さい頃の話が聞けてよかった。大人の人に自分の意見を聞いてもらってよかった。

学校紹介

学校名 品川区立後地小学校
校長名 西川 幸延
住所 品川区小山2丁目4番6号
電話 03-3781-0890
URL <https://school.cts.ne.jp/ushiroji/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 77名
学校地域コーディネーター 園部 薫



分類 授業支援・学習支援

お菓子でSDGs?!

グリコSDGs学習

事業の背景・目的

本校のSDGs活動のひとつとして2・4年生が江崎グリコの方に「環境への取り組み」を出前授業していただいた。

事業の概要

ふだん食べているお菓子の会社が、環境のために色々な取り組みをしていることに子ども達は驚き、クイズなどを通して楽しくSDGsについて学んだ。

特徴及び工夫した点

本校ではSDGsコーナーを廊下に設営し、17のテーマを定期的に替えて一つのテーマをよりわかりやすく工夫して子ども達が関心をもてるようにしている。

成果

私たちが生きていくには何をすべきなのかをグリコSDGs学習を通して一人一人考える事ができた。

今後の展望

SDGs教室の体験学習を通して子ども達が考える機会を設け、他人事ではなく当事者意識をもって行動できるように取り組んでいきたい。



ひとこと

子ども達の大好きなお菓子から色々な学びがあった。

学校紹介

学校名 品川区立戸越小学校
校長名 矢田 雅久
住所 品川区豊町2-1-20
電話 03-3781-2856
URL <https://school.cts.ne.jp/togoshi/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 矢吹 陽子



分類 学習支援

「誰もが来たくなる」図書室に！

図書ボランティアの活躍

事業の背景・目的

図書室の環境整備、図書室スタッフの不在時のカウンター業務の補助及び読書タイムの読み聞かせなどを通じて、子どもたちに本を好きになってもらいたい。

事業の概要

- ・週 4 回の中休み・昼休みのカウンター業務の補助
- ・月 1 回の図書室のディスプレイ変更作業
- ・読書タイムの読み聞かせ

特徴および工夫した点

経験者を中心に、集まれる人が集まって、季節に合わせたディスプレイを考えてくれている。また、図書室スタッフがいなくてもボランティアの方のおかげで、子どもたちは、図書室を利用することができる。

成 果

子どもたちは毎月変わるディスプレイを楽しみにしてくれ、図書室にくる子どもも増えた。



今後の展望

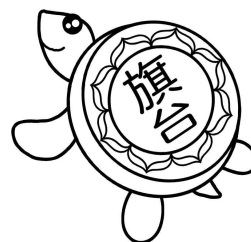
図書ボランティアの楽しさとやりがいをもっと広めて、皆が来たくなる図書室にしたい。

児童・生徒の感想

ボランティアの方のおかげで、楽しく安心な図書室になっている。

学校紹介

学校名 品川区立旗台小学校
校長名 遠藤 和朗
住所 品川区旗の台 4-7-11
電話 03-3785-1687
URL <https://school.cts.ne.jp/hatano/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 50 名
学校地域コーディネーター 近藤 直子



89th hatanodai

分類 学習支援

持続可能な未来塾

品川地域未来塾

事業の背景・目的

品川地域未来塾を継続していくために、上神明小学校の卒業生が自分たちの後輩を教えるという、長い目でみた縦割りの仕組みを作りたかった。

事業の概要

低学年には個別指導で勉強する習慣を身に付けることが目的で、高学年になるにつれて、それだけでなく、心のケアの観点から、年が割と近い指導員とお喋りしたり、放課後の居場所としての居心地の良さを兼ね備えた場所にしている。

特徴および工夫した点

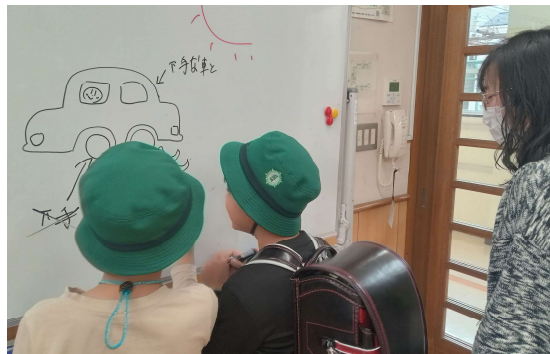
品川地域未来塾を始めて6年目となるが、今年度からやっと指導員全員が上神明小学校の卒業生だけで構成することができるようになった。

成果

低学年は勉強の習慣が定着しつつあり、高学年は毎週の未来塾が当たり前となっていて、勉強後は指導員と楽しんで過ごしている。

今後の展望

引き続き本校の卒業生が順々に指導員となっていき、未来塾が児童の拠り所となるような場所であり続けたい。



児童・生徒の感想

この写真は、指導員と仲良くお絵描きしているところです。児童曰く、そういう時間が貴重だそうです。

学校紹介

学校名 品川区立上神明小学校
校長名 甲斐 正教
住所 品川区二葉 4-4-10
電話 03-3781-4792
URL <https://school.cts.ne.jp/kamishin/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 28 年度
登録ボランティア数 21 名
学校地域コーディネーター 小宮 佳美



分類 学習支援・その他（行事支援）

「品川コミュニティ・スクールDAY in 清水台小学校」 5年生の「よりよい清水台小学校を目指して」～たてわり班活動の活性化～

事業の背景・目的

5年生児童は、清水台小学校が伝統的に、「たてわり班活動」＝「他学年との交流がさかんである」と、とらえている。しかし、「近年児童数の増加に伴いたてわり班活動の質を高めていく必要がある」、「チームとしての仲間意識をさらに高めていかなくてはならない」などの次期6年生としての課題意識をもち始めている。

事業の概要

来年度は最高学年となり、清水台小学校を牽引していくことになる5年生児童による「たてわり班活動」をより充実させるための主体的な活動。

特徴および工夫した点

日頃の活動をしているたてわり班の中に、保護者、校区教育協働委員、教職員が入り、班毎にメインテーマを決めて、そのためにできる具体的なことを話し合った。

成果

より良い清水台小学校を目指して、「どんなたてわり班にしたいか」という話し合いから具体的な目標が提案された。



今後の展望

「チーム間を高めたい」、「分け隔てなく関われる仲間意識を高めたい」などの各班の目標のもと、5年生が中心となり具体的な手だてを講じて班活動の活性化を図っていく。

児童・生徒の感想

- ・普段のたてわり班活動への意識が変わった。
- ・6年生へ向けてもっと学校全体のことを考えていきたいと思った。
- ・いろいろなアドバイスをいただいて、自分たちの取り組みをもっと具体的に考えられるようになった。

学校紹介

学校名 品川区立清水台小学校
校長名 深尾 剛
住所 品川区旗の台1-1 1-1 7
電話 03-3781-4841
URL <http://school.cts.ne.jp/smizudai/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 7名
学校地域コーディネーター 湯川 泉



分類 環境整備支援

うさぎ預かりボランティアの拡充

事業の背景・目的

目的：飼育動物の飼育環境改善・健康管理及び長期休暇中の教員の負担軽減
背景：長期休暇中特に閉庁日における飼育動物の飼育環境の維持・管理がむずかしく、動物愛護の観点からも学校内での温度管理や衛生管理が教員の負担になっている

事業の概要

飼育ボランティアの育成及び拡充

特徴および工夫した点

飼育委員の児童の保護者を中止としたボランティアの募集及び飼育方法の啓蒙による、飼育委員会参加児童への飼育知識の展開

成果

昨年度2名だった飼育ボランティアをうさぎが3匹いるため本年度3名に拡充。ウサギの餌の量の管理が徹底され、健康状態が向上した。



今後の展望

本年度の4年生の保護者にも声かけを行い、飼育委員会の児童を中心にボランティアを育成する

児童・生徒の感想

ウサギ飼育に関する知識・愛着が深まった。
動物を飼うことの大変さを実感した。

学校紹介

学校名 品川区立小山台小学校
校長名 伊藤 健治
住所 品川区小山台1丁目18番地24号
電話 03-3712-7587
URL <https://school.cts.ne.jp/koyamada/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 77名
学校地域コーディネーター 木下 真理子



分類 学習支援

職場訪問（7年生）職業体験（8年生）

事業の背景・目的

学校・家庭・地域社会・各事業所で協力・連携することにより、校内ではできない職業に関する体験学習を実施し、生徒が働くことの価値や社会のルール、一般常識の大切さについて考え・学ぶことを目的とした。

事業の概要

職場訪問・・・グループで企業を訪問し、インタビューを実施。

職場体験・・・さまざまな事業所で、2日間にわたり、仕事を体験。

特徴および工夫した点

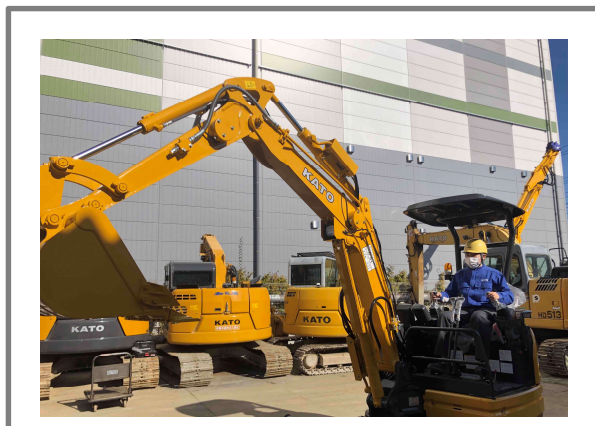
小グループ、少人数で生徒が主体的に、責任をもって学習ができるように、できるだけ多く地域の事業所に協力していただいた。（訪問：20 体験：47）

成果

生徒にとって、地域の方々と直接ふれあうことで、働くことへのイメージが具体的にになり、より深い学びとなった。

今後の展望

多様な業種、人にかかっていただけのような協力者を増やす努力をする。



児童・生徒の感想

- ・企業を訪問し、直接お話を聞くことで、楽しく学ぶことができた。
- ・仕事の体験を通じて、将来の進路を考えるきっかけとなった。

学校紹介

学校名 品川区立東海中学校

校長名 蜂屋 隆子

住所 品川区東品川 3-30-15

電話 03-3471-6951

URL <https://school.cts.ne.jp/tokai/>

品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度

登録ボランティア数 6名

学校地域コーディネーター 月岡 明希子



分類 その他（行事支援、地域連携）

「大崎防災まち歩き」のボランティア活動への支援

事業の背景・目的

関東大震災から100年という節目の本年、大崎地区での新たな試みである地域住民が主体の「大崎防災まち歩き」のイベントが行われた。そこに大崎中学校の生徒がボランティアとして参加し、地域防災について学ぶ取組をコーディネートし、学校と地域を繋ぐ。

事業の概要

「大崎防災まち歩き」の来訪者が参加できる体験のうち、ランプ（食用油を活用したもので、停電時に役立つランプ）の作り方を地域の方々と共に生徒がイベントの一般参加者に伝授する。

特徴および工夫した点

体験する方々にしっかりと「ランプ作り」の方法をお教えできるよう、事前に地域の方々と詳細な打合せの機会を設けて準備を進めたこと。

成果

生徒が体験する中で地域防災のことを知るきっかけとなったり、地域の方々との交流を深めたりして、学校と地域を繋ぐ役割を果たすことが出来た。



今後の展望

今後はさらに多くの生徒が地域の一員としての自覚をもち、地域防災の活動などに参加しやすくなるように努めたい。

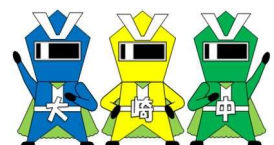
児童・生徒の感想

大きな地震から100年とのことで、改めて防災をして大切な命を守っていこうと考えました。簡単に作れるランプなので、非常時に使えるように覚えめました。地域の方々とたくさん関わることができて良かったです。

学校紹介

学校名 品川区立大崎中学校
校長名 菊地 信江
住所 品川区西品川 3-10-6
電話 03-3491-6623
URL <https://osaki-jh.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成30年度
登録ボランティア数 43名
学校地域コーディネーター 深田 とし子

サキチューレンジャー



分類 その他（地域連携）

～浜中生のおもてなし～

浜川まつり

事業の背景・目的

浜中生が地域にデビューし、地域との交流の場として平成25年から取り組んできたまつり。今では地域の方にできる「おもてなし」を考え、形にしてきた。コロナ禍で2年間でできなかったが今年是可以ることを工夫して実施

事業の概要

浜中校庭にて、ゲームコーナー、体験コーナーを設ける。コーナー運営はボランティアで募集した生徒、教職員、PTA の他、エネカフェメタンの会、大井警察署、大井消防署などの地域団体や行政機関。来場者は近隣の小学校（鮫浜小・立会小・浜川小）の児童中心。

特徴および工夫した点

まだコロナ禍が収まっていない中での実施で感染症対策を一番に検討。定員を決め、来場に関しては事前申込制とし、「こくちーず」を採用。会場が混雑することもありなく人数把握できたことで材料などの無駄な準備をしなくてよかった。校区教育協働委員会の委員にも体験コーナーを担当してもらった

成果

生徒たちが「地域との交流」「楽しいことを学校全体で取り組めたこと」を経験できたこと。地域支援本部の活動ができたこと。



今後の展望

実行委員に地域の方や、PTA に積極的に係わってもらいたい。この活動を機会にコミュニティ・スクールの存在や意義が地域に伝わるように工夫したい。

児童・生徒の感想

やりたいことをやることができてよかった。ありがとうと言ってもらえてうれしかった。よい経験になった。地域の人におもてなしができてよかった。

学校紹介

学校名 品川区立浜川中学校
校長名 柳岡 裕幸
住所 品川区東大井 3-18-24
電話 03-3761-1014
URL <https://school.cts.ne.jp/hama-j/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 28年度
登録ボランティア数 30名
学校地域コーディネーター 巻島 淳子



はまりょう

分類 学習支援

～明るい図書館で、みんな一緒に試験勉強！！～

品川地域未来塾【S Jセミナー】

事業の背景・目的

自ら課題をもった生徒や家庭での学習が困難な生徒に対して、彼らが安心して勉強できる環境を継続的に提供することで、生徒たち自身が学習意欲を高め、更には彼らの学力向上につなげることを目的とした。

事業の概要

明るく開放的な学校図書館で、異学年の生徒と一緒に自主学習できることが特徴。1日2時間、各自の予定に合わせて自由に入退室可能、1～3名ずつ配置した学習支援ボランティア指導員が、生徒を見守ると同時に必要に応じて助言や指導を行った。

特徴および工夫した点

昨年度の「定期考査1週間前より実施」から今年度は「2週間前」に変更し、より計画的に学習する習慣を身につけることができるよう工夫した。また、夏期休業中は前半6日間及び後半5日間実施し、宿題や課題に対応できるような日程とした。

成果

定期考査に向けて、学校の学習計画に沿って利用する生徒が増えた。徐々に計画的な学習習慣が身に付いている。



今後の展望

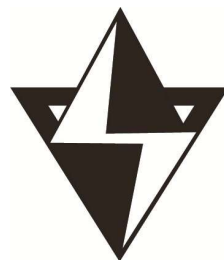
学習指導のできる指導員を増員し、分からない所を教えてもらえることで更に学習意欲を高めていきたい。

児童・生徒の感想

友達と一緒に勉強できる・家より集中できる・分からないところを教えてもらえる・勉強しやすい環境…などの感想が寄せられた。

学校紹介

学校名 品川区立鈴ヶ森中学校
校長名 滝沢 二三雄
住 所 品川区南大井2-3-14
電 話 03-3765-2849
U R L <http://school.cts.ne.jp/suzu-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 25名
学校地域コーディネーター 奥田 智子



分類 その他（行事支援・地域連携）

中学生が地域の防災を担う

富士見台中学校 学生消火隊の結成

事業の背景・目的

コロナ禍でD級ポンプの取り扱いを学ぶ機会がなくなっていたため今年から活動再開した。生徒がD級ポンプの取扱いができるようになることを目標に行った。

事業の概要

学生消火隊を結成し、当該生徒がD級ポンプの取扱いを学ぶ。
第三地域防災訓練での地域・学生消火隊の操法訓練に向けて訓練を行った。

特徴および工夫した点

D級ポンプ指導ができる人材がいなくなったため消防団員である自分が指導した。消防について興味をもち生徒が主体的に活動できるような環境づくりをした。

成果

第三地域防災訓練ではとても上手に操法ができた。訓練から生徒が楽しそうに大きな声で主体的に活動していたことが1番の成果だった。

今後の展望

学生消火隊の結成から訓練までが約1か月間しかなかったため、D級ポンプの取り扱いを身に着けるためにもより長いスパンで活動したい。



児童・生徒の感想

（児童・生徒の感想）皆楽しかったと言っていた。

学校紹介

学校名 品川区立富士見台中学校
校長名 石黒 晋
住所 品川区西大井 5-5-14
電話 03-3772-0900
URL <http://school.cts.ne.jp/fujimi/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 0名
学校地域コーディネーター 鈴木 雅也



分類 その他（地域連携）

中学校区の児童・生徒の健全育成を目指し地域、保護者、学校の連携について

コロナ禍を経て～地域と児童・学校の交流～

事業の背景・目的

今年コロナ禍で途絶えていた地域行事が再開したところも多く、生徒と地域を結ぶテーマにしたいと考えた。重点テーマとして「より良い社会や街をつくるために私たちができること」

事業の概要

地域健全育成運営協議会兼品川コミュニティ・スクールDAY

特徴および工夫した点

会話が弾むようグループ協議から、全体の発表にして、一体感のある会になるように工夫をした。（ABCDE グループ：地域における危機管理、FGHIJ グループ：つながる町会行事）

成果

生徒と地域の大人と熟議の中で様々な課題が出て、今後の地域での活動について検討できた。

今後の展望

次年度以降も生徒と地域の方々と話し合いができる環境をつくっていく。



児童・生徒の感想

地域の活動など自分が住んでいる地域のことを知ることができた。自分たちが、どの様に地域と関わればよいか考える機会になった。

学校紹介

学校名 品川区立荏原第一中学校
校長名 黒田 佳昌
住所 品川区荏原 1-24-30
電話 03-3785-1680
URL <https://school.cts.ne.jp/ebara1>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 2名
学校地域コーディネーター 杉本 将輝



分類 環境整備支援

職場体験を再開しました

環境整備支援

事業の背景・目的

3年間実施することができなかった職場体験を実施するために準備をして、体験当日の支援を行った。職場体験は地域との連携が欠かせず、その調整は数か月前から必要である。また、事前学習で職場の様子を押してもらった講師も準備が必要だった。

事業の概要

地域の商店街を中心に職場体験を受けいれてくれる事業所を、生徒のニーズに合わせて探す。また、職場からの要望等を学校に伝え、調整することが必要だった。

特徴および工夫した点

職場によっては向いている人もいれば、そうでない人もいるので、なるべく幅広く集める必要があった。また、事前に生徒のアンケートを実施して、どのような希望が多いのかも考慮した。学校の考え方を聞いて、職場選びを助めた。

成果

生徒からは、非常に多くを学べたことが伝わってきた。また職場からも事後アンケートでかなり好評であった。



今後の展望

更に職場体験の位置づけ、効果等を学校と相談して、職場の人にも伝えて、目的を共有することで教育効果を上げていきたい。

児童・生徒の感想

普段とは立場が逆になったからこそ、分かったことがたくさんあって、勉強になった。

学校紹介

学校名 品川区立荏原第五中学校
校長名 夏井 真一
住所 品川区旗の台五丁目11番13号
電話 03-3781-5643
URL <http://school.cts.ne.jp/ebara5/index.html>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成29年度
登録ボランティア数 29名
学校地域コーディネーター 飯田 慶子



分 類 その他（ 行事支援 地域連携 ）

生徒が愛着をもって育てた花たちは地域でも好評です。

生徒のボランティア活動『ハートウォーミング六中』

事業の背景・目的

- ・体育館脇の歩道沿いに花壇を作ること、地域環境の美化向上を目的としている。
- ・生徒が主体的に整備・育成する事で、愛校精神を醸成させるとともに、ボランティアの意義を理解させる。

事業の概要

ハートウォーミング六中という生徒会を中心とした生徒のボランティア活動の一環で、毎日の水やりの他に年に2回放課後に花壇の花の植え替えを行っている。

特徴および工夫した点

地域の方や卒業生の保護者に事前準備や当日の支援をお願いし、学校と地域が連携して活動を行っている点。

成 果

- ・学校の周りに植えているたくさんの花は地域の方からもとても喜ばれている。
- ・歩道沿いのゴミのポイ捨ての激減し、生徒の愛校精神やボランティアマインドが向上した。

今後の展望

- ・毎日の水やりに加えて、雑草取りも組み込んでいきたい。
- ・花壇の花の説明の絵も生徒が作るようにしていきたい。

生徒の感想

- ・自然と触れ合える良い機会になりました。
- ・花の配置から考えたことで、普段の水やりにも愛情をもって真剣に取り組めるようになりました。



学校紹介 学校名 品川区立荏原第六中学校
校長名 伊藤 恵造
住所 品川区小山 5-20-19
電話 03-3781-7776
URL <http://school.cts.ne.jp/ebara6>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 29 年度
登録ボランティア数 5 名
学校地域コーディネーター 吉野 由紀子



分類 学習支援

自分のスタイルで進んで学習 ～品川地域未来塾【自学教室】～

事業の背景・目的

今まではランチルームを利用して自習スタイルを基本に自学教室を開催していた。しかし、友達と学習したいとの要望があり、生徒が希望するスタイルで学習に取り組むことを目的に、一人で集中して学習したい生徒、友達と学習したい生徒に分けて自学教室を開催した。

事業の概要

年 4 回実施する定期考査前の自学教室では、各教科の課題や試験範囲の学習を行い、分からない問題は学習支援員に質問して解決していく。夏休みの自学教室では、終わらない宿題に取り組み、夏休み中に宿題を終わらせることを目指す。

特徴および工夫した点

工夫した点は、一人で静かに学習したい生徒には被服室を開放した。また、ランチルームで友達と学習するときは、人に迷惑をかけないようにするというルールを決めた。友達と学習していても分からないところが多い場合が多く、学習支援員が効率的に指導できた。全学年の希望する生徒が集まり学習できることも特徴の一つである。

成 果

それぞれにあった学習スタイルで行うことにより参加者が増えた。
友達が頑張っている様子に刺激を受け、進んで課題に取り組む姿勢が見られた。

今後の展望

参加を希望する生徒は増えたが、課題・目的をもって参加する生徒を増やしていきたい。
学習支援員の確保にも努めたい。

児童、生徒の感想

集中して学習できます。友達と一緒に勉強するとやる気が出ます。
友達と一緒に勉強する場所がないので自学教室はとても良いです。
分からないことを学習支援員さんに教えてもらえるのでとても良かったです。



学校紹介

学校名 品川区立戸越台中学校
校長名 栢之間 晃
住所 品川区戸越 1-15-23
電話 03-3781-6250
URL <https://school.cts.ne.jp/togosi-j/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成 30 年度
登録ボランティア数 23 名
学校地域コーディネーター 原野 美智子



分類 授業支援

ドリームジョブツアー in 五反田バレエ2023

事業の背景・目的

社会は広く、多様で、様々な可能性があることを知り、将来を前向きに考えるきっかけになってほしい。五反田地域の企業の存在を知り、関心・愛着を深めてほしい。

事業の概要

事前準備では、まず自分自身を知り、五反田地域を知り、お話頂く企業について調べる。なぜ今の会社で働いているのか、何を目指して、何を大切にしているのかなど、対話を通して聞き取り、自分の考えも伝えてみる。終了後は、自分自身を振り返り、働くことの意義を改めて考えてみる。お話をして頂いた企業の方へお礼状を書く。

特徴および工夫した点

本年度は24社の企業のご協力を頂いた。初めて飲食のお店へ参加もお願いし、様々な職種の方々と交流できることで、生徒たちが幅広い視点で話を聞けるようにした。生徒たちはお手製の趣味などを描いたネームカードを身に着け、自己紹介を行う事からスタートした。企業の方とのコミュニケーションをとるきっかけとなり、始めは緊張していた生徒たちもだんだんと発言する声が聞こえてきた。

成果

働くということについて、前向きに考えるきっかけになったと思う。

今後の展望

1クール20分が短いという声もあり、検討していきたい。



児童・生徒の感想

働くことの意義について改めて考えるきっかけになった。大変なことが楽しい、利益だけでなく世に貢献することの大切さ、そんな考え方もあると知り、心に残っているという感想が多くあった。

学校紹介

学校名 品川区立日野学園
校長名 堀井 昭宏
住所 品川区東五反田2-11-1
電話 03-3441-3209
URL <https://school.cts.ne.jp/hinogaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 60名
学校地域コーディネーター 田辺 優美子・本田 一美



分類 学習支援

英語絵本の読み聞かせ ～児童に英語のシャワーを！～

事業の背景・目的

近隣の大学生ボランティアの方が発足し、保護者ボランティアの方と連携して、児童にもっと英語を身近に感じてもらおう！楽しんでもらおう！という目的で活動を開始した。

事業の概要

品川コミュニティ・スクールのスタート時からずっと続いている活動。
1年生～4年生、各学年月に1回ずつと今年度初めて5組に1回実施。
授業前の朝の時間（15分間）を有効活用して、英語の絵本を読みきかせしている。

特徴および工夫した点

英語絵本を読み聞かせるだけでなく、児童に楽しんでもらえるように、ハロウィーンやクリスマスの月には衣装も用意して、児童たちと一緒に歌ったり、踊ったりした。



成果

今年度初めて5組でも活動を行い、活動場所が広がった。児童たちにとっても楽しんでもらえた。



今後の展望

ボランティアの方を増やし、各教室でより充実した活動を展開していけるようにする。

児童・生徒の感想

歌ったり、踊ったりする事が楽しかった。英語が好きになった。
聞き取れなかった英語も、絵を見るとわかる事が多く楽しい。

学校紹介

学校名 品川区立日野学園
校長名 堀井 昭宏
住所 品川区東五反田2-11-1
電話 03-3441-3209
URL <https://school.cts.ne.jp/hinogaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 60名
学校地域コーディネーター 田辺 優美子・本田 一美



分類 学習支援

異学年交流を通して協力して活動する力を高めよう

低学団遠足（第1学年～第4学年）

事業の背景・目的

1年生から4年生までの縦割り班の活動を通して、協力する力を高めたり、信頼関係を深めたりする。

事業の概要

学校から戸越公園まで往復徒歩で移動する。現地では文庫の森・戸越公園・エコルとごしを縦割り班ごとにローテーションで活動、昼食のお弁当も各班で食べた。

特徴および工夫した点

現地までの経路で、見守りボランティアが必要な箇所を、担当の先生と一緒に下見をして確認して決めた。

成果

下級生が喜ぶためには何をしたらよいかを、4年生の考えで行動している姿が見られた。



今後の展望

ボランティアの方々には、往復の移動の見守りをお願いしたが、現地の活動でのお手伝いも検討したい。

児童・生徒の感想

リーダーの4年生が、公園での遊びをたくさん考えてくれて、とても楽しかった。

学校紹介

学校名 品川区立伊藤学園
校長名 野口 大和
住所 品川区大井5-1-37
電話 03-3771-3374
URL <http://itogaku.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 103名
学校地域コーディネーター 久保田千晶、小野英一

人と人が手や肩を組む
伊藤学園のシンボルマーク



分類 学習支援

「働くということ」について考えよう

第8学年職場体験

事業の背景・目的

実際に仕事を体験し、働くことの意義を働いている人から直接聞き、進路の参考として今後に生かすとともに、社会人としてのルールやマナーを学ぶ。

事業の概要

事前の打ち合わせ訪問の電話連絡から生徒が行い、区内の約45の協力事業所で2人から5人程度の生徒が、2日間実際に行っている仕事を体験する。

特徴および工夫した点

生徒122名の受け入れ企業を確保するため、昨年度受け入れ企業を中心に約60社と協議した。受け入れ企業への依頼状は極力直接持参し、信頼関係の構築に努めた。

成果

全員が現場の仕事を体験し、直接実際の仕事の話のを伺える有意義な活動となった。

今後の展望

担当教員との打ち合わせを密にし、生徒・受け入れ企業ともに喜んでいただけるよう努めていきたい。



児童・生徒の感想

企業の皆様のおかげで貴重な体験ができました。このような体験のために様々な準備をいただき感謝しています。

学校紹介

学校名 品川区立伊藤学園
校長名 野口 大和
住所 品川区大井5-1-37
電話 03-3771-3374
URL <http://itogaku.shinagawa.andteacher.jp>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 103名
学校地域コーディネーター 久保田千晶、小野英一

人と人が手や肩を組む
伊藤学園のシンボルマーク



分類 学習支援

「町たんけん～ドリームジョブ～職場体験～ホームページ作成へ」 ～興味から体験へ、八潮地域でつながる～

事業の背景・目的

町たんけん（2年）で興味を持ち、ドリームジョブ（7年）で様々な職種の皆さんの話を聞き、興味を持った職場で体験（8年）をさせていただき、それをホームページ作成（9年）で活かし有意義な経験とする。

事業の概要

町たんけん、ドリームジョブ、職場体験ホームページ作成等の経験を通して、地域の営み、働くこと等の理解を深める。

特徴および工夫した点

町たんけんでは訪問した事業所を中心に依頼をし、次の体験につながるようにした。

成果

興味をもった職業や事業所に継続して訪問することで、生徒の理解につながった。

今後の展望

更に多くの店舗、企業、事業所等に継続して訪問・協力いただくことで、児童・生徒のより深い理解につなげる。



児童・生徒の感想

「八潮のまちのみんなのためにがんばっているところがわかった」
（2年児童町たんけん感想より）

学校紹介

学校名 品川区立八潮学園
校長名 小宮山琢磨
住所 品川区八潮5-11-2
電話 03-3799-1641
URL <https://yashigaku.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 68名
学校地域コーディネーター 金子純子 片岡紀子



分類 学習支援

本を通して伝える力を高めよう

『ビブリオバトル～7年生～』

事業の背景・目的

本を読む機会が少ないため、本に親しむきっかけとする。
八潮図書館職員のレクチャーを通し、地域の図書館に親しみを持てるようにする。

事業の概要

7年生各自が好きな本について、グループ内で発表する。
グループ内で、チャンプ本（1番読んでみたい本）を決定する。

特徴および工夫した点

50分の授業内で全員が話せる機会を設けるようにした。（グループ内での発表）
ゆっくり話すことを考えられるように、2回に分けて授業を行った。

成果

「話す」ことで、時間調整などの難しさを、「聞く」ことで、新しいことを知る楽しさを学ぶことができた。

今後の展望

今後も同様の取り組みをすることで、
学校校門前の八潮図書館へ足を運び、
本に親しむ機会を増やす。



児童・生徒の感想

生徒より「いろいろな本を知ることができて良かった」「また授業でビブリオバトルをやりたい」等の感想があった。

学校紹介

学校名 品川区立八潮学園
校長名 小宮山 琢磨
住所 品川区八潮5-11-2
電話 03-3799-1641
URL <https://yashigaku.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 68名
学校地域コーディネーター 金子 純子 片岡 紀子



分類 未来塾

活躍！ ミニ 翻訳機！

『共通理解を深めるために』

事業の背景・目的

近年、海外からの転入生が増えていますが、ここ、八潮学園においても、同様の傾向がみられます。そこで、日本語が不慣れな生徒との、相互理解を深めるために、ミニ翻訳機を導入しました。

事業の概要

品川地域未来塾での学習および学外指導員と生徒たちとの理解を深めるため。とりわけ、算数用語（通分、公約数、体積など）の言葉理解を補助する。

特徴および工夫した点

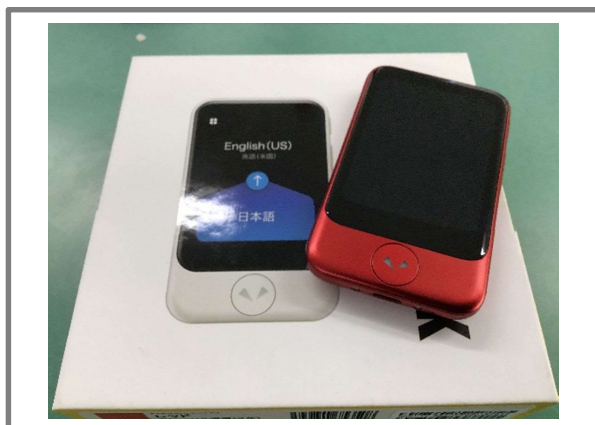
時間中、常に、指導員が携帯し、問題内容の説明を補助している。また、生徒たちからも、質問時に使いやすいようにしています。

成 果

日頃使っている、算数用語を英語で探し、内容説明でき、生徒のつまづき理解につながった。

今後の展望

今後、必要不可欠な道具と、なりそうです。英語のみならず、多言語対応できるのも、心強い味方となります。



児童・生徒の感想

持っている疑問、不安など、表現しやすい。とのことでした。

学校紹介

学校名 品川区立八潮学園
校長名 小宮山 琢磨
住所 品川区八潮5-11-2
電話 03-3799-1641
URL <https://yashigaku.shinagawa.andteacher.jp/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 68名
学校地域コーディネーター 金子 純子 片岡 紀子



分類 学習支援

キャリア教育をつなげて 工場見学（3年）

事業の背景・目的

8年の職場体験につながるものとして、近隣の工場に伺ってお仕事の様子を見せていただき、お話を伺う。

事業の概要

近隣の工場にご協力いただき、3年生が5つのグループに分かれて工場に伺いお仕事の様子を見せていただく。事業後に他のグループに情報を伝えるためにグループ発表の時間を作り工場の方や引率ボランティアの保護者にも見ていただいた

特徴および工夫した点

だんだん受け入れていただける工場が減っていて苦労しているところでしたが、今回新しい工場が増えました。パン粉工場なのですが、とても協力していただきました。引率が担任だけでは足りないため、引率ボランティアを募りました。

成果

2年生のおみせたんけんからキャリア教育につながるものとして、良い経験になったのではと思います。学校での発表に工場の方が来てくれました

今後の展望

工場に大人数が入って伺うのはご負担が多いように感じますが、発表の様子を見ていただくなど、学校に来てもらうことで理解を進めたい。



児童・生徒の感想

パン粉がこんな機械で作られることを知って良かった。工場の方が発表を見に来てくれてよかった。

学校紹介

学校名 品川区立荏原平塚学園
校長名 米塚 裕貴
住所 〒142-0052 品川区平塚 3-16-26
電話 03-3782-7770
URL eh-gakuen-shien@city.shinagawa.tokyo.jp
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 80名
学校地域コーディネーター 高田 有希子



分類 学習支援

キャリア教育をつなげて ドリームジョブ（6・7年）

事業の背景・目的

8年の職場体験につながるものとして、お仕事をされている方に学校に来ていただき児童生徒にお話をしていただく。仕事の内容と共に、どうしてその仕事を選んだのか？やりがい？との話を聞いて、キャリア教育のきっかけとする。

事業の概要

講師（ドリームマイスター）を15組呼び出して、6・7年生を15グループに分けてお話を伺う。30分で組み換えを行い、2組の講師からお話を聞くことができる。事業後にお礼状を作成し、講師に届ける。

特徴および工夫した点

幅広い分野の講師に恵まれているので、昨年までは7年だけの事業を6年と合同開催とした。普通教室を多く使えることで、準備や移動がしやすくなった。
また、講師が多いので2回行うことで4人の話を聞けるようになった。

成果

6年生はスチューデントシティ後の授業だったので、より実感をもって話を聞くことができた。キャリア教育のつながりを感じた。

今後の展望

同じ話を聞いても、6年と7年では感じ方が違うので、事前授業や振り返りで工夫していただき、より実りある授業にしていきたい。



児童・生徒の感想

まだ自分が何の職業になるかわからないけれど。それぞれの仕事について知ることができて、考えることができた。

学校紹介

学校名 品川区立荏原平塚学園
校長名 米塚 裕貴
住所 〒142-0052 品川区平塚 3-16-26
電話 03-3782-7770
URL eh-gakuen-shien@city.shinagawa.tokyo.jp
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 80名
学校地域コーディネーター 高田 有希子



分類 学習支援・地域連携

書き初め練習 地域未来塾書道教室

事業の背景・目的

今年度より、学校支援地域本部が地域未来塾の運営をすることにより、未来塾を書道の経験の場として活用する。
長く続けている6年生の「文字のおくりもの」でご指導いただいている書道家の方との繋がりを活かす。

事業の概要

未来塾の12月3回を「未来塾書道教室」として実施。書き初めを毛筆で行う3～9年生を対象とし、通常の未来塾とは別に参加者を募集。書道家（9名）からは、筆使いや個々の作品にアドバイスを受けた。書道に親しむ機会とする。

特徴および工夫した点

初めての試みのため、当日の流れをイメージしてもらえるように、書道家の方には詳細を伝えた。
「文字のおくりもの」では、書道家の方が授業支援に関わるため、未来塾との違いを理解していただいた。

成果

品川学園と書道家の方との関係が長く続いていることで、多くの方の支援が望めた。子供たちは、書道に集中し、自らの練習の成果を意識できていた。

今後の展望

子供たちが書道を経験し親しむ機会を継続していく。書道家の方から、もっと関わっていきたいとの感想をいただく。地域の人材として支援の継続を願いたい。



児童・生徒の感想

「習字は楽しかった」「教えてもらって、上手くなったと思う」「練習した作品を家に持ち帰って見せたい」

学校紹介

学校名 品川区立品川学園
校長名 荒川 右文
住所 品川区北品川 3-9-30
電話 03-3474-2671
URL <http://school.cts.ne.jp/shinagaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
学校地域コーディネーター 扇谷 和子



分類 レガシー事業・キャリア教育

人形劇を通して障害者と触れ合う

デフ・パペットシアター・ひとみ 講演会

事業の背景・目的

障害をもった方と触れ合う機会が少ないため、ろう者と聴者が一緒に人形劇を演じる劇団に講演依頼し機会を設けた。1～4学年を対象としているため、人形劇を介して手話やコミュニケーションを経験する機会としたい。

事業の概要

レガシー事業の一環として障害者理解（聴覚障害者）のジャンルを選択。『デフ・パペットシアター・ひとみ』より劇団員2名（ろう者1名・聴者1名）と通訳2名に来ていただき、劇団紹介、人形の動き、言葉を発しない人形劇の工夫、簡単な手話体験、劇団員の榎本トオルさん（ろう者）の講演を行う。

特徴および工夫した点

在籍児童数が多い中での人形劇の紹介はどのようなやり方がいいのか、劇団の担当の方と何度か相談を重ねた。演者方への拍手を表現できるように、講演会の早い段階で児童に手話での拍手のやり方を伝えてもらった。

成果

人形劇を利用したことで、劇団講演会に楽しく参加でき、ろう者の方と触れ合うことができていた。簡単な手話を経験し、劇団員や友達と共有することができた。

今後の展望

プロのデフ・パペットシアターひとみに触れることで、共生活動、共生社会の第1歩に繋がればと思う。



児童・生徒の感想

「人形が生きているみたいに動いていた」「かわいかった」「手話の拍手を覚えた」
「人形に触れてうれしかった」

学校紹介

学校名 品川区立品川学園
校長名 荒川 右文
住所 品川区北品川 3-9-30
電話 03-3474-2671
URL <http://school.cts.ne.jp/shinagaku/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
学校地域コーディネーター 扇谷 和子



SHINAGAWA
GAKUEN

分類 その他（一貫プラン他）

豊葉の杜学園 CS の取組を全国へ（前期課程）

小中一貫教育全国シェアミーティングに参加して

事業の背景・目的

小中一貫教育全国シェアミーティング品川開催にあたり、豊葉の杜学園見学ツアーとなったため、CS の取組を全国に向けて発信する良い機会と考えた。

事業の概要

地域人材の外部講師を招いたマジック工作や昔遊び授業を行った。
先端的課外事業である HYM の各取組の紹介をもパネル展示した。

特徴および工夫した点

地域人材の授業では、講師の他に補助を担ってくださる方にも協力をお願いし、児童が様々な方と関わりをもてるようにした。
日頃から掲示等を担ってくださっているボランティアの方から「豊葉の杜学園のよいところの木」のアイデアをもらうなど、協働しながら環境づくりを行った。

成果

来場者に外部人材講師の授業をアピールできた。
豊葉の杜学園見学ツアーの様子が教育新聞に掲載され、本校 CS の取組を全国へ伝えることができた。

今後の展望

授業機会がいつ訪れるか分からないので、日頃から、人材発掘や、つながりを大事にしていきたい。



児童・生徒の感想

地域人材の授業を受けた児童は、地域の方からマジック工作や昔遊びを優しく教えていただき、夢中になって楽しく活動に取り組んでいた。

学校紹介

学校名 品川区立豊葉の杜学園
校長名 二宮 淳
住所 品川区二葉一丁目3-40
電話 03-3782-2930
URL: <https://school.cts.ne.jp/hoyomori/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 約25名
学校地域コーディネーター 河野 孝子 村田 丈一



分類 その他（一貫プラン他）

豊葉の杜学園 CS の取組を全国へ（後期課程）

小中一貫教育全国シェアミーティングに参加して

事業の背景・目的

小中一貫教育全国シェアミーティング品川開催にあたり、豊葉の杜学園見学ツアーとなったため、CS の取組を全国に向けて発信する良い機会と考えた。

事業の概要

先端的課外事業である HYM の各取組の紹介をパネル展示した。
地域人材の外部講師を招いた授業を行った。

特徴および工夫した点

HYM の取組紹介では、各講師の方に取りまとめのご尽力を賜った。
外部人材を活用した、いのちの授業は後期特別支援学級を対象に品川チャイルドラインの方に、未来を拓くスキルアップ講座は7学年を対象にリクルートの方にそれぞれご講話いただいた。

成果

来場者に HYM の展示で取組の説明や、外部人材講師の授業をアピールできた。豊葉の杜学園見学ツアーの様子が教育新聞に掲載され、本校 CS の取組を全国へ伝えることができた。



今後の展望

発信の機会がいつ訪れるかわからないので、日頃から、そのための資料をローディングストックしたい。

児童・生徒の感想

HYM 文芸倶楽部の展示に協力した児童・生徒から、自分の作品が展示されることに恥ずかしさがありながらも、誇らしさを感じた。

学校紹介

学校名 品川区立豊葉の杜学園
校長名 二宮 淳
住所 品川区二葉一丁目3-40
電話 03-3782-2930
URL: <https://school.cts.ne.jp/hoyomori/>
品川コミュニティ・スクール設置年度 平成28年度
登録ボランティア数 約25名
学校地域コーディネーター 河野 孝子 村田 丈一

